

## ●特設講座 S-1 モーツァルト・コード ～音楽を紐解く、心が開く～

下記の各金曜日 10:45～12:10 全5回

**日 程**：10月13日、10月27日、11月17日、11月24日、12月1日

**会 場**：聖徳大学2号館奏楽堂

**講 師**：岩井孝信、山本真&山田幸子、外山浩爾、山本真理子、原佳大（リレー方式）

**受講料**：7,500円 ※SOAは会員制のため、新規受講の方は、入会金5,000円（70才以上の方・卒業生は3,000円、3年間有効）が別途必要です。

250歳になったモーツァルトとその音楽の魅力について、音楽文化学科の先生方がお話と演奏でつづります。彼の音楽の知られざる秘密を、選りすぐりの作品を通して解き明かして行きたいと思います。この講座には、毎回異なるジャンルから演奏系の先生方が登場。5回にわたってリレー方式でご案内します。さあ、何が出てくるかお楽しみに。音源はもちろん「生」でお届けします。

<b>第1回</b> (10/13)	<b>電子オルガンでモーツァルトをリニューアル！</b>
<b>講 師</b>	岩井 孝信(聖徳大学人文学部音楽文化学科教授)
<b>概 要</b>	皆さん、「電子オルガンで音楽を編曲する」って、どのような作業をしてゆくのか想像できますか？ 音楽の要素であるメロディ・リズム・ハーモニー及び音色を分析し、オリジナリティあふれる作品に仕上げるのです。今回は皆様ご存知のモーツァルト作品を素に、編曲のプロセスを実際にご紹介しながら、モーツァルトの新しい響きをご一緒に発見していきたいと思ひます。

講師プロフィール	武蔵野音楽大学卒(管楽器専攻)。ヤマハ音楽振興会本部制作スタッフとしてテキスト制作、講師研修を行う。月刊エレクトーン専属アレンジャーを皮切りに、編曲家としての出版・著作が多数。毎年開く演奏会が好評。
----------	---

第2回 (10/27)	ホルン吹きのもーツァルト楽器事典
講師	山本 真(聖徳大学人文学部音楽文化学科教授) 山田 幸子(聖徳大学講師)
概要	<p>もーツァルトの数多い作品の中で、管楽器を扱ったものは極めて少ないのですが、ホルンだけは特別です。「ホルン吹きのバイブル」となっている4曲ものコンチェルトと1曲のロンド、その他の小品群、断片が残されています。その創作の裏には、ある男との友情秘話が隠されていたのです！今回はホルンの歴史を紐解きながら、もーツァルト時代の楽器による生演奏もご披露します。</p>
講師プロフィール	<p>山本 真:東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。在学中、安宅賞受賞。NHK 交響楽団に2003年まで30年在籍。NHK・FMリサイタル、テレビリサイタル等ホルンソロ、アンサンブルの録音に数多く出演。国際ホルン協会会員。</p> <p>山田 幸子:武蔵野音楽大学大学院修士課程修了。福井直秋記念奨学金授与。千葉県新人演奏会出演。修士論文「もーツァルトのホルンコンチェルト」執筆過程で、色々なエピソードに出会う。山本真氏に師事。日本ホルン協会会員。</p>

<p>第3回 (11/17)</p>	<p>見て楽しむモーツァルト・オペラ</p>
<p>講師</p>	<p>外山 浩爾(聖徳大学人文学部音楽文化学科教授)</p>
<p>概要</p>	<p>皆さんは、モーツァルトのオペラをいくつかご覧になったことがありますか？《フィガロの結婚》、《魔笛》、《コジ・ファン・トゥッテ》…。モーツァルト前、モーツァルト後の様々な作曲家のオペラと何がどう違っているのでしょうか。今回は、知っているようで知られていないモーツァルトのオペラの秘密をご紹介します。音楽文化学科の誇る歌手たちの生演奏もお楽しみ下さい。</p>
<p>講師プロフィール</p>	<p>東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。全日本音楽教育研究会理事。全日本合唱連盟相談役。東京藝術大学音楽学部同声会副会長。聖徳大学附属高校音楽科長。長年にわたって、男声合唱の指揮者として活躍。</p>

<p>第4回 (11/24)</p>	<p>「トルコマーチ」の打楽器的発想</p>
<p>講師</p>	<p>山本 真理子(聖徳大学人文学部音楽文化学科教授)</p>
<p>概要</p>	<p>《ピアノ・ソナタ イ長調》K.331 の第3楽章(俗称「トルコマーチ」)に影響を及ぼしたとされるトルコ風ニュアンスを探りましょう。今回は、13～16世紀に隆盛を極め、ヨーロッパを威圧したオスマン・トルコ帝国の軍楽隊「メフテル」に着目します。特に、「メフテル」の打楽器のリズムを取り入れ、「トルコマーチ」を“よりトルコ風に”演奏してみますのでお楽しみに。</p>

講師プロフィール	東京藝術大学卒業(打楽器専攻)。1993年、打楽器アンサンブル「エンジョイ・パーカッション」を結成。国内外にて依頼演奏をしている。西アフリカやペルー、沖縄の民族太鼓による演奏パフォーマンスも好評。
第5回 (12/1)	ウィーン、わが夢の街～モーツァルトとウィーン～
講師	原 佳大(聖徳大学人文学部音楽文化学科教授)
概要	故郷のザルツブルクを離れ、ウィーンにやってきたモーツァルトの晩年10年間に作風はどう変っていったのでしょうか。「えっ！これがモーツァルトなの？」という曲も紹介しながら、ベールに包まれたモーツァルトに迫ります。私の演奏をまじえながら、おなじみ「原流の」スタイルでお届けします。もしかして、モーツァルトさんが登場するかもしれません。お楽しみに！
講師プロフィール	東京芸大附属高、東京芸大卒業。ウィーン国立音大修了。ヨーロッパと東京を中心に活躍中。現在、ウィーン国立音大夏季マスタークラス客員教授。日本人初のモーツァルト、全ピアノソロ作品完奏で有名なピアニスト。